第１８０回 原医研セミナーのご案内

下記のとおりセミナーを開催いたします。多数ご参集ください。

記

日 時： 平成２８年３月１７日（木）午後４時～
場 所： 霞総合研究棟
6‡+b:U)z_PM•s8jb0ŽÒ

演 者：血液・腫瘍内科研究分野 本庶 仁子 講師
初期胚は成体に比べ、細胞分裂も活発に行われており、放射線に対する感受性も高い。ゼブラフ
ィッシュは体外受精でありイメージングに利点を持つため、初期胚での放射線に対する反応を調べ
るのに良い系だと考えられる。しかし、ゼブラフィッシュ初期胚の放射線に対する影響およびその
反応はまだあまりよくわかっていない。受精直後の初期胚では成体で起こる DNA 損傷への応答機
構が働かない、また母性因子を持ち、転写は行われないなど、放射線に対する応答が異なっており、
そのような違いも初期胚の高感受性の一因になっていると考えられる。我々は、ゼブラフィッシュ
胚の様々な時期における放射線影響をそれらの違いに注目して検討してきた。本セミナーでは、そ
の結果について報告する。

連絡先： 広島大学霞地区運営支援部総務グループ 082-257-1639（内線 霞 6279）